



あいせい紀年病院

なづや認知症

NEWS

※ 本センターは、名古屋市社会福祉協議会が名古屋市から委託を受けて運営しています。

認知症疾患医療センターは、認知症の原因となる病気を調べ、適切な治療を行った
り、妄想・興奮などの行動・心理症状や骨
折肺炎などの身体症状が悪化した場合の相
談に応じています。

- ① 名鉄病院
- ② 偕行会城西病院(新)
- ③ まつかげシニアホスピタル
- ④ あいせい紀年病院
- ⑤ もりやま総合心療病院
- ⑥ 藤が丘さくらなみきクリニック(新)
- ⑦ 八事病院



**👉 認知症疾患医療センターについて
詳しいことを知りたい方はこちら！**

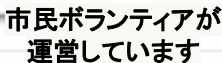
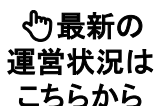
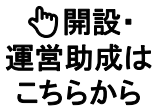
名古屋市は、認知症疾患医療センターの整備を進めており、令和6年4月にあいせい紀年病院（南区）を、令和6年12月に偕行会城西病院（中村区）と藤が丘さくらなみきクリニック（名東区）を新たに指定しました。従来からの名鉄病院（西区）、まつかげシニアホスピタル（中川区）、もりやま総合心療病院（守山区）、八事病院（天白区）とあわせて市内7医療機関が認知症疾患医療センターとして地域における認知症の専門的な医療を担っています。認知症疾患医療センターは、認知症の医学的な相談や診断、治療以外にも、介護や福祉の関係機関との連携を促進する機能や認知症の啓発などを行っています。また、名古屋市の「もの忘れ検診」とリンクし、早期の発見、診断、治療体制の一翼を担っています。お近くの認知症疾患医療センターをご活用ください。

認知症カフェとは、認知症のある人や家族、地域住民、医療や介護の専門職など、誰もが気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる地域の居場所です。

名古屋市内には、246か所あり、そのうち39か所は市民ボランティアが認知症カフェを運営しています（令和6年12月末現在の登録数）。

近年、市民ボランティアが運営する認知症カフェの開設が増えてきました。運営者は「参加者が構えることなく話し、気楽に過ごすことができるのは、ボランティアのカフェだからこそその強みです」とお話しされています。

名古屋市内では「認知症カフェをやってみたい」という皆さんの相談に応じ、開設や運営の支援を行っています。今年度から助成金が増額され、金銭的な負担が軽くなって「助かった」との声も聞かれました。



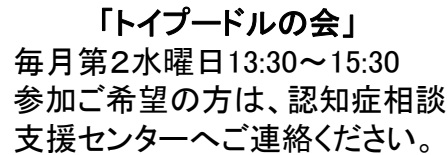
名古屋市中では、認知症の人が人生に希望を持って生きるための活動の場として、月に一回「認知症当事者ネットワーク」なごやトイプードルの会」を開催しています。毎回、コーヒー好きな参加者が淹れてくださる美味しいコーヒーを飲みながら、それぞれに近況を語り合います。

他にも今年度は、「認知症の人の視点による買い物物しやすさとしにくさ」について、ショッピングモール等に出かけ、買い物をしながら調査をしました。

「レジのマークはあるけれど、他の陳列と同化してしまつて見つけられない」「レジの列に並ぶ時、どこに並んだらよいかわかりにくい」「蛇口の操作がわかりにくい」等、体験して気づくことがたくさんありました。参加者からは、「タッチパネルで選択して支払うやり方がわからないから、いつも同じところで買い物をする」等の意見もありました。

ちよつとした工夫で今まで通り生活できることはあるのではないかと皆で考える機会になりました。

今、市内でも認知症の当事者が集まり、語り合う場が増えています。それぞれがやりたいことを語り実現し、当事者の意見を活かした暮らしやすいまちづくりを目指していきます。



認知症当事者ネットワークな「や
「トイプードルの会」

リーフレットと動画のお知らせ

『認知症になってから、
ますます自分らしく生きる
〜 診断後も社会参加を続ける 〜』

ができました

「社会とつながっていたい」「人の役に立ちたい」「やりたいことを続けたい」。認知症と診断されても、自分の意思で自分らしくあゆみ続ける、そのような生き方を実践されている方を紹介したリーフレットと動画を作成しました。

認知症の人の社会参加は、本人の意思を尊重するサポートチームと誰もが尊厳を持つて暮らし続けるという社会の認識、本人の少しの勇気と努力がそろえば、実現できると思います。



認知症の人が事故を起こしたときに備える「賠償補償制度」

なごや認知症の人

おでかけ
あんしん
保険事業

保険料 無料
※診断書（初回のみ）は
自己負担です。
【保険事業受付事務局】
Tel 052-734-7099

令和6年度
12月末の
加入件数
3,378件



認知症コールセンターです
市民からの相談に応じています

●**相談例①** ●父親のものが忘れが酷く、認知症だと診断された。これからどうしていけばよいかわからない。ネットで調べるよとこの電話番号が出てきた

●**「慰対」**認知症について相談できる場所を増やしましょう。診断を受けた医療機関はもちろん、高齢者の相談窓口であるいきいき支援センター、介護家族同士で不安や悩みを共有し支えあう交流会などがあります。

●**相談例②** ●最近母親が昔と変わってしまったような気がする。前は社交的で明るかったのに、最近は家に引きこもりがちになってしまった。

●**「慰対」**お母様がなぜひきこもりがちになってしまったのか？理由を一緒に考えてみましょう。

認知症に関することは、認知症
コールセンターにご相談ください。



☎ 734-7089

受付時間 月・水・木・金…10～16時
火…14～20時
(年末年始・祝日除く)

名古屋市内の認知症の情報は、
右記のウェブサイトをご覧ください。

なごや認知症あんしんナビ

検索

